

12月は家族月間です  
THE WEEKLY REPORT

RI 第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ

2010-2011年度 テーマ

見つめなおそう ローターの心  
つくりよう 新たな未来を



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011 年度 RI会長  
レイ・クリンギンスミス

次回例会予定 12月8日 前期委員会報告  
12月15日 移動例会(17日忘年会)

VOL. 48 No. 19 (通算No. 2260)

2010年12月1日(水)例会プログラム

点 鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

年次総会

前期委員会事業報告



「紅葉:いちよう」

写真提供:大塚令昌会員

2010-2011年度

会長 白井

豊

幹事 大塚令昌

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

12月は家族月間です  
THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.48 No.18 (No.2259) 11月24日(水)晴れ (司会 染谷正美副委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆会員卓話 雨谷道夫会員

誕生祝



《会員》砂長秀和会員



諸報告

親睦活動委員会 山牟田 博副委員長

12月17日(金)家族親睦忘年会の参加費を次週より集めさせていただきたいと思います。宜しくお願いします。

国際奉仕委員会 倉持功典委員長

ツウンバよりメールが届きました。

2011年1月7日(金)～1月19日(水) 4名の学生が来日します。受け入れの際には宜しくお願いします。

幹事報告 大塚令昌幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会長挨拶 白井 豊会長



御挨拶致します。

今日は11月最後の例会となり、いよいよ今年も残り1ヶ月となりました。気温の寒暖の差が大きく体調管理が難しい季節ですので、お互いに十分に気を付けたいと思います。

今朝の新聞は各紙大きな見出しとなっています。現段階の東アジア状況では極めて考えにくい、北朝鮮の一方的論理による韓国に対する砲撃。この問題に対し我が国は隣国として非常に難しい対応を求められる立場と考えられますが、大学生の就職内定率は過去最低に落ち込み、中小企業は景気低迷に青色吐息。国会では失

## 1 2月は家族月間です

### THE WEEKLY REPORT

言・陳謝の繰り返しで、アップアップしている菅政権では心許ないばかりです。しかしこの様な時こそ、先日もお話し致しましたが、「一身の独立が国の独立」という思いを持ち、一人一人日々の生活を通して社会に貢献しようではありませんか。

また、過日大勢の重要ポストの警察官が集まる会合に出席して参りました。仙谷官房長官の失言には皆さん“愕然”としておりましたが、我々の安全と安心の為に任務にあたっておられる方々に対して失言というより暴言ではないかと感じました。

さて、21日に行われた千葉ロッテマリーンズの優勝パレードは素晴らしかったですね。新聞各社の販売店が提供した古新聞を裁断。14センチ×7センチ位にすると、一番空中に浮くことを実験で確かめ、4トントラック2台分の紙吹雪となりました。しかし素晴らしいのは、パレードで使ったこの紙吹雪が終了後15分で全部回収されたことです。ロッテファンの「マナーの日本一」と称賛されるのも当然のことと思います。

一年も終わりに近づき何かと慌しくなって参りますが、元気に一日一日を大切に頑張り、ロッテファンならずとも最後をしっかりとしたいものです。

本日の例会も宜しくお願ひします。では、雨貝会員卓話宜しくお願ひします。

#### 会員卓話 金属リサイクル(鉄屑)について 雨谷道夫会員



##### 1. 鉄屑の発生源及び集荷について

- ・建物の解体物、製造工場の廃材屑、設備、機械等の廃棄による物
- ・鉄道、造船、自衛隊等の払い下げ品と市中の老廃物
- ・リサイクル法の家電類(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)
- ・自動車リサイクル法の廃自動車

一般家庭や事務所、また生活空間に発生する粗大屑等とあらゆる所で発生しております。これらを鉄・スクラップ加工処理業者が直接回収したり、回収業者による持ち込みまたは工場より直接持ち込まれた物を選別、加工処理し主に電気

炉・メーカーの製鋼原料として販売されています。一部については、台湾、韓国、中国等にも輸出しております。

2. 選別加工処理方法としては、ギロチンによる切断、プレスによる圧縮処理、シュレッダーによるは材処理等が主です。(メーカー規格に処理される)

ちなみに、回収処理コストは t当り7,000~8,000円かかります。

3. 販売価格、仕入価格は変動性であり販売価格の決定は、商社、電気メーカーにより決定されます。また品質により上級屑~下級屑とランク付けされ、上級と下級の価格差は約6,000円前後あります。我々加工処理業者は、メーカー価格よりコストを差し引いた分の残りを仕入価格の目安にしております。ちなみにスクラップが多量に出るところは高く、少ない、安く買うのが通例であります。

4. 続いて、戦後の鉄スクラップの変動状況と現在の状況、今後の見通しについて私の考えを交えてお話しさせていただきます。

一番最初の大きな変動は、1950年後半~1953年前半です。このときは朝鮮特需。

38度線で戦争開始(1950年6月25日)この年の後半から値上がりし、当社 t当り5,000円前後の物がわずか3カ月で25,000円に高騰した。当時の大工の日当は1日180円で、鉄屑は1キロ24円ですので、非常に高かったと思われます。

その後、1955年から始まった神武景気にのり、丸棒が9,500円、鉄屑35,000円の戦後最高を記録し、1957年後半には15,000円に暴落(役5カ月で20,000円下がる)、その後15,000円~20,000円前後で安定していたが、1971年のニクソンショックによる円高で(約52円の円高)戦後最安値の10,000円割を経験するが、1972年後半に田中角栄元総理による日本列島改造論で出版され、翌73年より土地の投機、買占め、売り惜しみがあり35,000円まで値上がりしたが、その後一度10,000円の値下がりを見る

## 1 2月は家族月間です THE WEEKLY REPORT

もすぐ値上がりし、1974年10月戦後最高値45,000円をつけるが、わずか2カ月で20,000円の暴落を見る。その後1975年10月には15,000円まで値下がりし、その間の値下がり1年で約30,000円の値下げである。

1977年～1980年にかけて第二次石油ショックがあり、40,000円の高値をつけるが、すぐさま値下がりしその後20,000円～25,000円前後で安定している。

1985年9月のプラザ合意により1986年の円高が進行し、円高不況により鉄屑は15,000円まで値下げになる。その後バブルの絶頂と共に20,000円台を回復するが、バブルの崩壊と急激な円高もあり(80円割)1998年 平成10年、10,000円の大台を割り込み、2001年(平成13年)6,000円台の戦後最安値を付け、鉄・スクラップ業者の死活問題にもなった(この年当社は8月水海道市にヤード移転)

その後、アジア向けの輸出の拡大や、2003年にはBRICS(ブラジル・ロシア・インド・中国)の新興市場の拡大により、世界同時好況が始まり、2006年には25,000円台を回復し、2007年資源エネルギーが急騰し年末には35,000円台をつける。

この年は鉄屑だけでなく、ステンレス屑 ㌦500円、銅屑 ㌦1,000円。原油に至っては100ドルに迫る勢いでした。(この年の8月、サブプライムローンの問題)2008年も年初めより値上がりし、7月に史上最高値70,000円をつける(原油147.2ドル)もわずか3カ月後の10月末には、10,000円まで値下がりし大損しました。情勢によって価格が変動し、儲かる時もあれば大損をするときもある業界であり、生活していく中では必要なものなので、価格に左右されない平穏な商売になればなと感じております。

### 出席報告 (古谷榮一委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	41名	16名	0名	1名	73.68%

**ニコニコボックス** 五木田裕一委員

入金計 ㄱ29,000 累計 ㄱ1,024,000

誕生祝御礼<<会員>>砂長会員

師走間近、健康にご留意ください。 白井会員

本日の卓話よろしくお願ひ致します。 雨谷会員

寒くなりました。例会欠席しました。 田上会員

ツウンバラかの受け入れよろしくお願ひします。 倉持会員

今日、早退します。 北村(英)会員

白井会長、大塚幹事、お元気そうでなによりです。 鈴木(旦)会員

例会欠席しました。 砂長・島田・下村・山牟田・鈴木(勝) 各会員

会報委員会 秋田政夫委員長 石塚利明副委員長 穂戸田好範委員 石塚幸一郎委員

